週刊 高齢者住宅新聞
―介護ビジネスの未来を創る―
Elderly Press Newspaper

2023年（令和5年）
5月24日
第715号（毎週水曜日発行）

（株）高齢者住宅新聞社
〒104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
☎03-3543-6852（編集部）
発行人 網谷敏数
年間購読料 23,100円（送料込・税込）
ホームページ
https://koureisha-jutaku.com

ヘルスケア フォーカス

入居者癒やす自費セラピー

″対話の時間″にニーズ

ALSOK介護（さいたま市）は介護保険外サービスとして、「シニアセラピー」を実施している。身体の冷えやむくみなどの改善に貢献することに加えて、1対1のコミュニケーションの時間となることが精神面にも好影響をもたらしている。

▲シニアセラピーは利用者とのコミュニケーションによって、メンタル面にも好影響を与える

ALSOK介護

シニアセラピーは、専門のセラピストが30～60分ほど、身体をリンパマッサージすることでリンパの流れを促すもの。料金設定は1回30分で2200円（税込）。月2回訪問で足または顔の施術コース、もしくは足・顔セットで60分コースを選んで利用する。

「人の人生は医療と介護だけで成り立っているわけではありません。″癒し″という観点でのサービスも必要だと考えました」と、このサービスの立ち上げに関わった医療連携部健康増進サービス課佐藤博美課長は語る。

医療連携部
健康増進サービス課
佐藤博美課長

佐藤課長は日本心理学会認定心理士であり、エステティシャンとして14年の経験を持つ。18年前、シニア向けのリラクゼーションビジネスの新規立ち上げを計画していたウイズネットに入社した。

シニアセラピーは現在約900～1000名の利用がある。頭・首・肩など顔回りの筋肉をもみほぐす「顔面療法」の施術を受けた利用者からは「頭がすっきりした」などの感想や、表情が生き生きとするようになるといった変化が見受けられるという。唾液線を刺激され唾液の分泌が促されたことなどによって食事が進みやすくなった利用者もいる。また、膝から下を施術する「足裏療法」では、むくみの解消で足の接地感覚が改善し、歩行の不安解消につながった例がある。

施術中は、セラピストと利用者が1対1で向き合ってコミュニケーションをとれる時間。多忙な介護現場において、このようなコミュニケーションに時間を割くのが難しい場合もある。佐藤氏は「施術中にご利用者様が、『寂しい』という心の声を話してくださることもあります」と語る。普段寡黙な男性が、施術中はセラピストとの会話をリラックスして楽しんでいるという光景も珍しくない。「″わたしの為に来てくれた″ということを非常に喜んでもらえています。普段よりおしゃれをしてセラピストを待っているなど、生活の刺激となっていることも感じられます」（佐藤課長）。

コロナ禍では手で触れるというセラピーの特性上、利用離れが起こる懸念もあった。だが、介護スタッフから利用者家族へ、シニアセラピーによるメンタル面での支援効果などについて評判が伝わっていたことから、感染症対策をした上でサービス提供を継続。その際、大きな利用控えはなかったという。

セラピストは、利用者の細かな変化に気づきやすい。「足のむくみや肌の質感など、直接触れるからこそ分かることがあります」（佐藤課長）。そうした情報を介護スタッフなどに共有することで、体調の変化を早期に察知。ケアに活かすこともできる。

シニアセラピーが身心に好影響を与えることから、ケアマネジャー経由でサービスを導入する人も多い。ケアプランに組み込むケースもよくある。

心身の健康維持に

ケアと相乗効果も

養成講座も開講 スキルアップに

同社ではセラピスト養成講座も開講。座学から実技、現場実習を通じてスキルを身に付ける、1回6～8時間、6日間のカリキュラムだ。受講料は4万8400円。

これまでに約700名が受講しており、その中の約6割が自社の介護スタッフだ。「特に入浴介助はシニアセラピーとの親和性が高く、学んだことが活かせていると声が挙がっています」。

介護スタッフにとってシニアセラピーはスキルアップにつながるだけでなく、利用者と向き合う時間を確保できるため、やりがいにもなっている。

「医療・介護の″ケア″以外でこのように利用者と向き合う時間は、日常生活の底上げに大きく貢献していると思います」と佐藤課長は語る。

今後、施術範囲（部位）を広げてほしいというニーズに対応するため、全身コースの提供も検討している。

2024年度
ダブル改定の概要・論点を指南
～報酬改定からM＆Aによる経営戦略～

第1部 13時30分～14時30分（60分）
24年ダブル改定を見据えた
生き残り戦略
～次期報酬改定の大胆予測とともに論点を読み解く～
講師：一般社団法人 全国介護事業者連盟 理事長 斉藤正行氏

第2部 14時35分～15時05分（30分）
介護M&Aの最新事例と今後の
業界展望について
～複雑に変化する業界動向に対するM&Aによる経営戦略～
講師：M&Aキャピタルパートナーズ 企業情報部 主任 小沼航大氏

第3部 15時05分～15時15分（10分）
質疑応答

オンライン開催
6月14日㊌ 13:30▼15:15
聴講費無料

ZoomのURLは、開催日の1～2日前にメールにてお送りいたします。※事前のお申込みが必要です。後日の配信はございません。
メールの転用行為を禁止しています。複数名の参加を希望されているご法人様は、参加者毎のお申込みをお願いいたします。社名を必ずご記入ください。定員になり次第締め切ります。セミナーは法人対象です。
こちらから申込できます▶

お問い合わせ
主催：株式会社高齢者住宅新聞社 TEL.03-3543-6852
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
共催：株式会社M&Aキャピタルパートナーズ